



## 安全・安心・ウェルビーイングの実現に向けた啓発活動

IDECは2018年に、トップマネジメントが主導し、企業における「安全・健康・ウェルビーイング」を追求するアプローチであり、国連の専門機関であるILO傘下のISSAが推進する、労働安全衛生のVision Zeroキャンペーンに、日本で初めて賛同、登録しました。

その後、ILO主導で設立されたThe Global Coalition for Safety and Health at Work（労働安全衛生グローバル連合）の企業推進タスクグループの活動に参画し、2022年5月に日本でオンライン開催された第2回ビジョンゼロ・サミットでは、推進役としてサミットを牽引しました。

サミットでは、IDECが世界をリードする協調安全技術をはじめ、事業を通じて世界一安全・安心・ウェルビーイングの追求・実現を目指すこと、人々が重大な労働災害から保護され、安全かつ健康に働く世界を目指す地球規模の予防文化活動を啓発して

いくことを、世界に向けて発信しました。今後も継続した取り組みを推進していきます。

A Company of  
**VISION ZERO**  
Safety. Health. Wellbeing.

## 多様なステークホルダーとの対話により共に成長

社員、お客さま、株主・投資家、取引先、地域社会、行政機関・業界団体など、多様なステークホルダーと良好な関係を築くことが企業価値向上に欠かせません。IDECは、さまざまなコミュニケーション手法を駆使し、ステークホルダーの皆さまの声、期待やニーズにお応えすることで、社会的責任を果たしていきます。

### 関連するマテリアリティ



安全・安心・ウェルビーイング



気候変動



企業基盤

- 技術開発・人材育成・マネジメント・社会ルール形成による安全性と生産性、ウェルビーイングの向上
- IDECグループの技術、製品を活用した顧客・社会の環境負荷低減への貢献
- 社会から信頼される企業となるための、ガバナンス、コンプライアンスのさらなる強化

## サプライチェーンマネジメント

サプライチェーン全体において人権、労働、安全衛生、環境などのリスクに配慮した事業活動を推進していくため、「IDECグループCSR調達ガイドライン」、「IDECグループグリーン調達ガイドライン」を制定し、日本語・英語・中国語・タイ語にて発行しています。サプライヤーさまと協力して、社会課題に対応するCSR調達（持続可能性に配慮した責任ある調達活動）を推進しています。

また、サプライチェーンマネジメントの一環として、サプライヤーさまに対して調査票を活用した、CSRセルフアセスメントや訪問調査を実施しています。CSR調達ガイドラインに則って現状を把握し、課題解決策の提案を行うなど、引き続きCSR調達へのご協力をお願いしていきます。

### サプライヤーさまと取り組む調達活動

- Step 1 CSR調達ガイドライン制定
- Step 2 CSR調達説明会
- Step 3 調査票による自己評価
- Step 4 訪問調査
- Step 5 課題解決策の提案

#### 詳細はこちら

<https://jp.idec.com/idec-jp/ja/JPY/sustainability/partner>



## 社会貢献活動

創業以来、IDECは企業の発展を通じて社会に貢献することを経営の基本方針の一つとしてきました。事業活動を通じた貢献だけでなく、社員一人ひとりが地域社会に根ざした企業市民として、社会貢献やボランティア活動を行うことを支援・推進しています。

本社食堂でTABLE FOR TWO (TFT) の寄付プログラムを導入し、途上国の子どもたちの学校給食の支援をしています。また、支援が必要な方に届けるフードドライブや、地域創生のための教育カリキュラムとして、社員が定期的に高校を訪れて外部講師となる取り組みや、地域の清掃活動の定期的な実施などを行っています。海外では、蘇州工場の社員によるボランティア・チームが、障がい者福祉施設や児童福祉施設を継続的に訪問するなど、グループ全体で社会貢献活動に取り組んでいます。



フードドライブ支援



蘇州工場のボランティア・チーム